

DCDH ファイル形式 DOCUMENT

1 DCDH ファイル形式について

DCDH ファイル形式は、1 レコードに複数時刻複数地点の観測データ形式である。主にその時刻差、地点差が少ない観測データに用いられている。この形式で格納されている観測データには航空機観測 (AIREP, AMDAR) データや、気象衛星観測 (SATOB) データなどがある。詳細は「データ種別番号一覧 (「4. その他」以降)」を参照のこと。

2 ファイルの構成

ファイルは、ひとつ以上の「レコード」から構成される。基本的には、ひとつの「レコード」はある観測時刻 (帯) のある観測データ種別の観測データ (群) に対応するが、ファイル時刻もレコードとなる。

レコードの種類はレコードタイプ番号により識別する。現在、次のレコードタイプ番号が定義されている。

レコードタイプ番号	内容
0	ファイル時刻レコード
140	観測値レコード

現在、提供している DCDH ファイル形式の観測報デコードデータファイルについては以下のようなレコードの並びになっている (1 区切りが 1 レコードとなっている)。

レコードタイプ 0	レコードタイプ 140	レコードタイプ 140	……………	レコードタイプ 140
-----------	-------------	-------------	-------	-------------

1 ファイル

3 各レコードの表現

個々の要素の値は基本的に整数型 2 バイトで表現する。これを「アドレス」という単位で数える。

3.1 ファイル時刻レコード(レコードタイプ番号=0)

DCDF ファイル形式と同じ。

3.2 観測値レコード(レコードタイプ番号=140)

ひとつの観測値レコードは、5つのパートから構成する。第1部はソートキー部、第2部はソート情報部、第3部はインデックス部、第4部はデータ部、第5部は保留である。基本的にレコードタイプ番号=120と同じである。

第1部・第2部のフォーマットは「DCDH ドキュメント別紙1」のとおり。これは、全てのデータ種別で共通である。DCDF ファイル形式と異なる点は、1 レコードに複数時刻複数地点の観測データ形式であるため、第1部にデータ群の平均値情報 (エリア中央緯度経度、及び中央観測時刻) を、第2部にデータ群の境界値情報 (エリア端点の緯度経度、観測時刻帯) がそれぞれ格納されていることである。

第3部・第4部のフォーマットはデータ種別毎に異なる。フォーマットの詳細は、「DCDH ドキュメントの付録」を参照のこと。

その他の事項については、レコードタイプ 120 に準じる。

4 その他

4.1 データ種別番号

現在定義されているデータ種別番号は「データ種別番号一覧 (「4. その他」以降)」を参照のこと。

4.2 数値予報ルーチンで作成し提供している DCDH 形式ファイルについて

ルーチンで作成する DCDH ファイルのファイル時刻は 00UTC であり、ファイル時刻 (=00UTC) に対して 0~23 時間 59 分後の観測データを格納する。ただし、ファイルが DCDH 形式であるため、ここで述べている観測時刻は、複数データの平均の観測時刻であり、当日に入るべき観測時刻のデータが翌日分に入る

ことがあるので、利用の際には注意が必要である。

また、レコード並びは観測時刻順とする。なお 1 レコード内の複数観測データの並びは不定である。

以上

データ種別番号一覧

航空機観測: 4000~4999

4100	AIREP 報	
4200	AMDAR 報, 日本国内 ACARS データ	
4210	航空機 (自動) 観測データのうち BUFR 形式で通報されるもの	
4300	CODAR 報	
4400	RECCO 報, HDOB	
4500	ARS, PIREP	※注 4

衛星観測: 10000~

SATOB		
10170	GMS 台風詳細風	※注 1
10180	同上	※注 1
10200+n	衛星風 (SATOB 報 2・3 節)	
	n は、赤外 +10/可視 +20/水蒸気 +30/分光 +40/その他・不明 +0。 BUFR 報はさらに+50 を加える	
10300	Expanded Low-resolution Winds (METEOSAT BUFR 報)	※注 2
10310	High Resolution Water Vapor Winds (METEOSAT BUFR 報)	※注 2
同上	Expanded Low Resolution Cloud Motion Winds (ELW) (BUFR 報)	※注 3
10320	Expanded Low-resolution Winds (METEOSAT BUFR 報)	※注 2
同上	High Resolution Visible Winds (HRV) (BUFR 報)	※注 3
10330	High Resolution Water Vapor Winds (HWW) (BUFR 報)	※注 3
10340	Clear Sky Water Vapor Winds (WWV) (BUFR 報)	※注 3
10360	赤外画像の雲移動ベクトルによる大気追跡風 (BUFR 報)	※注 5
10370	可視画像の雲移動ベクトルによる大気追跡風 (BUFR 報)	※注 5
10380	水蒸気チャンネルによる大気追跡風 (BUFR 報)	※注 5
10390	水蒸気チャンネル (晴天域) による大気追跡風 (BUFR 報)	※注 5
10400	地表面温度~SST (SATOB 報 4 節)	
10500	雲量・雲頂高度 (SATOB 報 5 節)	
10700	相対湿度 (SATOB 報 7 節)	
10710	相対湿度・輝度温度 (METEOSAT BUFR 報)	※注 2

※注 1

2003 年 5 月 22 日から気象衛星が GMS5 から GOES9 に変わったことによりプロダクトは廃止となっている。

※注 2

元ファイルフォーマットの変更に伴い、2002 年 2 月 28 日よりデコードをすべて中止している。

※注 3

2003 年 4 月 14 日よりデコード開始している。

※注 4

2006 年 4 月 3 日よりデコード開始している。

※注 5

極軌道衛星による大気追跡風。2007 年 12 月 25 日よりデコードを開始している。